

ウガンダ支援交流の報告と感謝のメッセージ



★ コロナ禍のウガンダ支援

NPO 法人安房文化遺産フォーラムが窓口となり、高校生や市民により 26 年続いているウガンダ支援交流。

2020 年 10 月、協賛 26 店舗で展開した「ウガンダコーヒー月間キャンペーン」は、ウガンダコーヒーの流通による支援金 74,100 円と寄付 19,312 円が寄せられました。夏に開催された【第 17 回安房・平和のための美術展】のチャリティ基金と合わせて、例年通り 1,000 ドルが準備できました。これに、ハンドメイドの小物を仕入れる準備金を合わせて 1,200 ドルを送金する段階で、ウガンダの国内事情の影響で送金困難となってしまいました。困っていたところ、ウガンダ駐在の日本人男性に縁が繋がりに、CUFI (ウガンダ意識向上協会) 代表のセンパラさんに直接手渡していただくことができました。

また、館山総合高校の NPO 学生会員から「コロナ禍でお家時間の増えた今、ウガンダコーヒーで癒されて支援につなげよう」と前向きな校内販売の提案があり、相談中です。

今年 10 月も「ウガンダコーヒー月間キャンペーン」を企画しています。風味豊かなウガンダコーヒー、ぜひご愛飲ください。



★ ウガンダの状況 ～コロナ禍と大統領選挙～

ウガンダでは、脆弱な医療体制に加え、収入の手段を失った人が多く、深刻な貧困が蔓延しており、新型コロナ感染前に飢餓のリスクが大きいとのこと。CUFI では弱い立場の方たちに、食糧や医療ケアが届くよう、手を差し伸べています。2020 年 3 月のロックダウンに伴う学校の閉鎖は約 1 年続き、学び続けることが困難になったり、望まない早期の妊娠をする女の子が増加しています。

また、35 年独裁政権の続くウガンダでは大統領選挙に向けては、対立候補の不当逮捕や暴動が起きたほか、国民の SNS (ツイッターやフェイスブック) がブロックされました。海外送金のエラーもその関係かもしれません。

2021 年 1 月の選挙では、現職のムセベニ大統領が勝利しました。しばらくは反乱や抑圧も心配です。

★ CUFI センパラ代表より支援金お礼のメッセージ

日本の友人の皆さんへ

CUFI への 1,200 ドルのご寄付を 2020 年 12 月 27 日に受け取りました。とても思いやり溢れるご支援をありがとうございました。

COVID-19 が世界的に広がり大変な状況の中、私たちのためにこれらの資金を募るために、皆さんがお骨折りにいただいたことを理解しています。NPO 法人安房文化遺産フォーラム、安房平和のための美術展、ウガンダコーヒーのキャンペーンに加わった 26 店、安房西高校 JRC 部などの皆さんに、心から御礼申し上げます。



私たちは、子供たちの支援と発展の分野で、最も必要な人々にこの資金が有効に届くよう努力します。今回はハンドメイド商品を日本へ送ることと、子どもたちの授業料補助、食糧配給、病院への送迎、マスク購入などに使わせていただきます。

感謝とともに、皆さんの健康と安全を願っています。

2020.12.28 CUFI 代表 スチュアート・センパラ

ウガンダからご挨拶と近況報告

第17回安房・平和のための美術展の成功を祈っています。皆さんの作品が、癒しと安心をもたらすことでしょう。

世界は、COVID-19の異常な事態に直面しています。ウガンダでは、飢餓、病気、貧困は地方及び都市部の人々に影響を及ぼす主要な問題です。私たちは安房南洋裁学校があるケバント地域の最も困窮している家庭に向け、食糧配給を行いました。このプログラムは私たちのセントポール教会の先導によるもので、困窮する家族には彼らの信条にかかわらず食糧を提供し、ロックダウンの期間中に250を超える家族に手を差延べました。

私たちが支援している何人かの小学7年生（初等教育）の子どもたちは初等教育終了テストを終え、そして中学校（中等教育）に入れるかどうか心配しています。中等教育4, 5, 6学年の生徒についても同じことが言えます。また、少女たちは早期の望まない妊娠に最も影響を受けます。

コロナ禍のため、教育を終了したものの、先に進むことのできない成人した子供たちの中には、自立できるよう何らかの小さなビジネスを始めるために少額の支援金を求める者もいます。

ピーター氏は、養豚事業を始めるために支援金の恩恵を受けています。そしてこの分野でのスキルを身につけられよう何人かの少年たちをこの事業に関わらせています。

メデ地域を担当するCUFIスタッフのピーター氏は、オートバイを使ってコミュニティに手を差し伸べています。この地への道路は、とても悪い状態です。支援する何人かの孤児たちは、検査のため、また病気の特性ゆえに月々の薬をもらうために病院を訪れなければなりません。そのため、病気の子供やおばあさんの両者を運び、また食料や薬を配達するというとても大きな仕事をしています。

日本で販売するためのハンドメイド製品については、技量と仕上げの改善が必要と知らされました。カンパラで、アフリカ布を使ったバッグ等を販売する支店を持つ日本の女性と連絡を取り、製品の質を向上させる助言していただくことを考えています。

また、ウガンダ独立（1962年10月9日）の月である10月のウガンダコーヒーマーンの成功を願って。できるだけ多くの方がコーヒーの美しさと甘さを味わえることを願って。アーメン。

支援してくださっている皆さんに深く感謝するとともに、皆さんに私たちの愛と感謝を送ります。



食糧支援を受ける孫と祖母



コロナ禍の病院で診察や薬の順番を待つ子供たち



メデ地域の支援を担当するピーター氏



若者の自立支援に向けた養豚事業で、9匹の子豚生まれる。